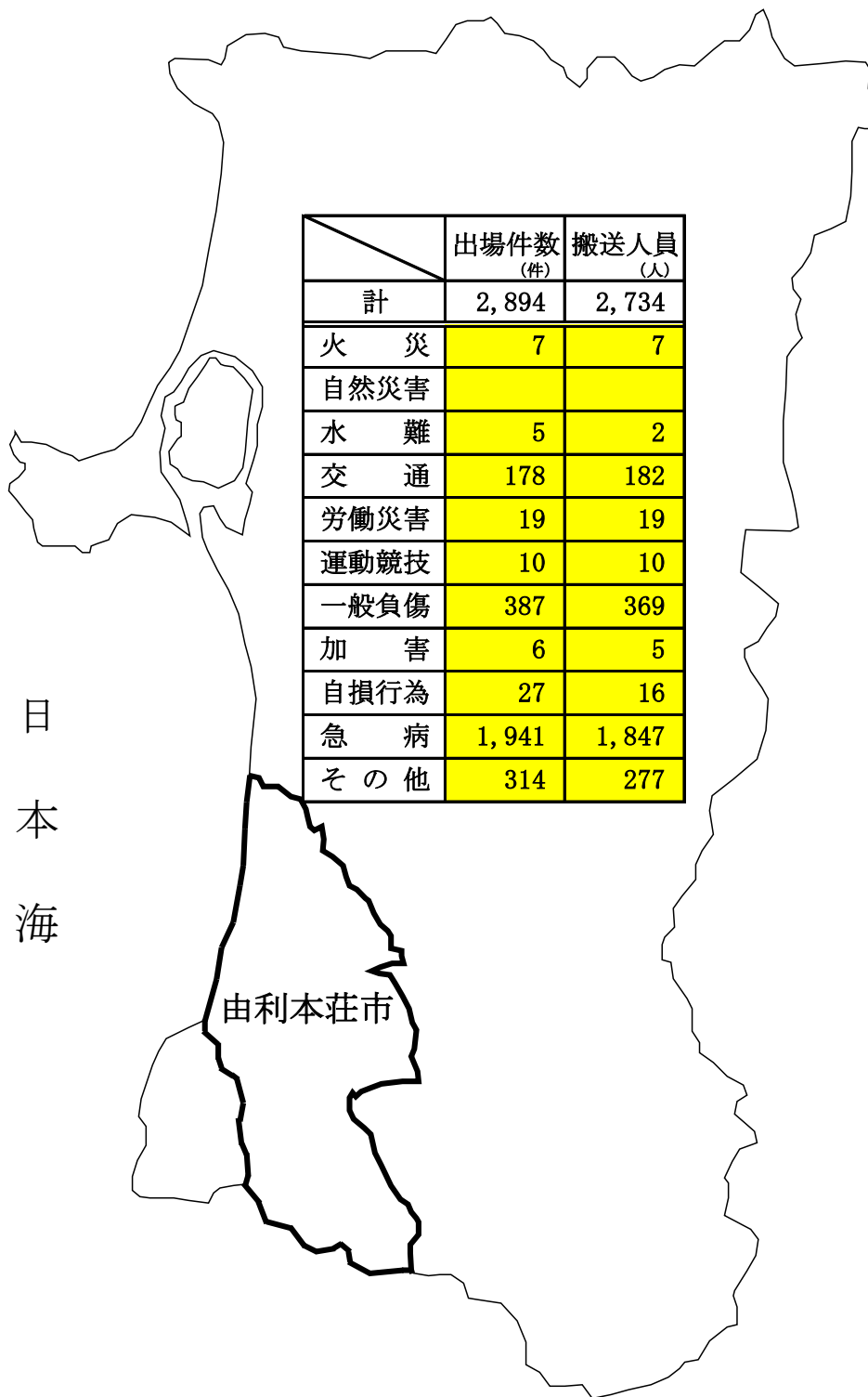




救急・救助統計

救急活動状況図

H31. 1. 1～R1. 12. 31



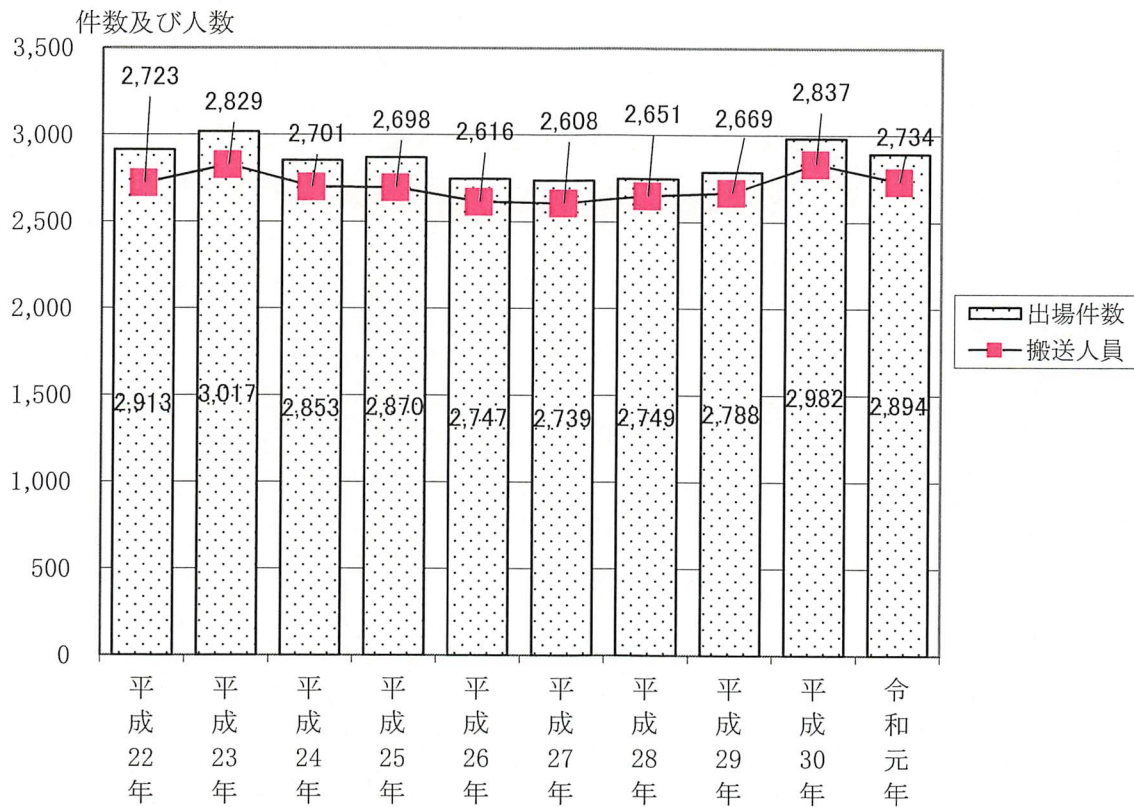
	出場件数 (件)	搬送人員 (人)
計	2,894	2,734
火災	7	7
自然災害		
水難	5	2
交通	178	182
労働災害	19	19
運動競技	10	10
一般負傷	387	369
加害	6	5
自損行為	27	16
急病	1,941	1,847
その他	314	277

救急業務実施状況

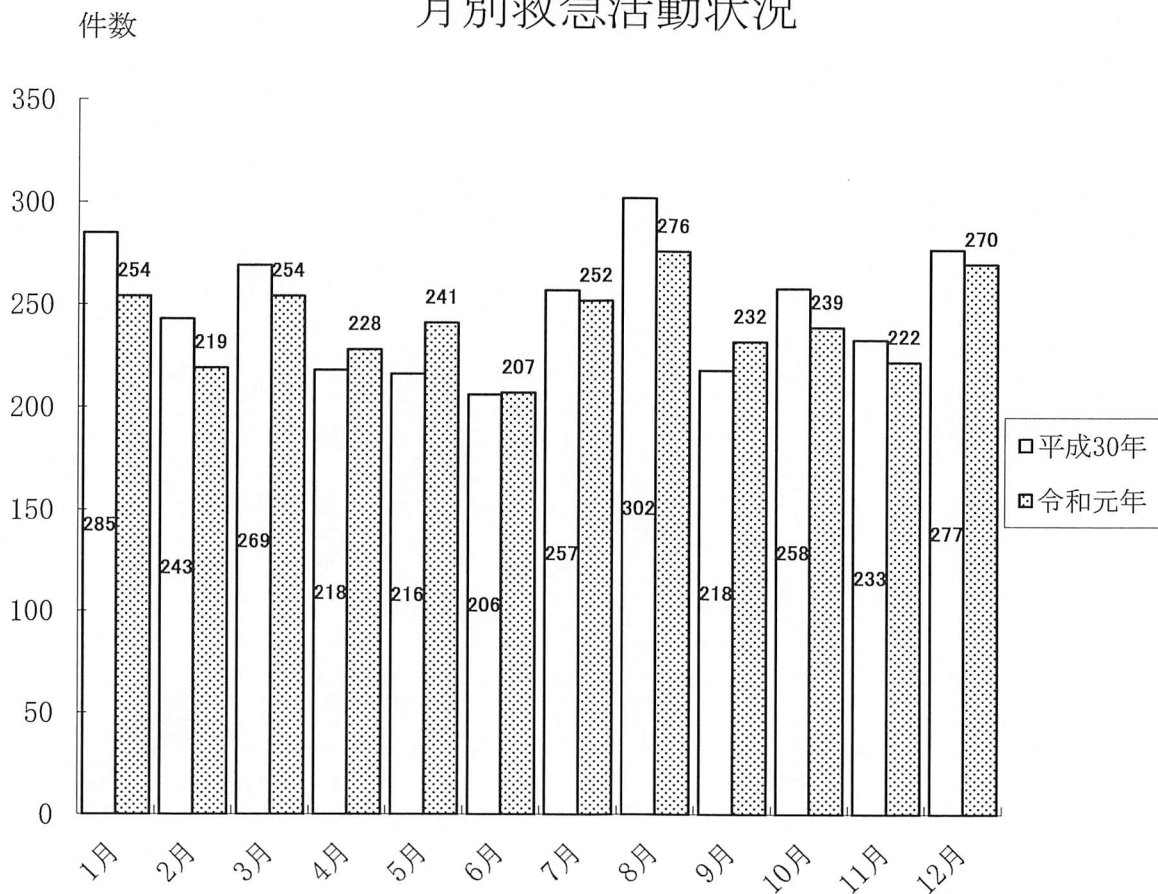
H31. 1. 1～R1. 12. 31

事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	前年との比較	平成30年	
											転院搬送	医師搬送	資器材等搬送	その他				
出場件数	7		5	178	19	10	387	6	27	1,941	277			37	2,894	△ 88	2,982	
不搬送件数	1		3	20			19	1	11	94				37	186	9	177	
搬送人員	7		2	182	19	10	369	5	16	1,847	277				2,734	△ 103	2,837	
地域別 出場件数	計	7	5	178	19	10	387	6	27	1,941	277			37	2,894	△ 88	2,982	
	本庄	4	4	80	9	4	191	4	16	931	225			15	1,483	△ 68	1,551	
	矢島			12			35		5	168	21				241	14	227	
	岩城			1	7	3	4	24	1	2	154	19			6	221	△ 38	259
	由利	1			16	2		16			107	2			1	145	11	134
	大内				15			40		4	199	1			4	263	12	251
	東由利				16	1		25			113	1			3	159	△ 6	165
	西目				18	1	2	25	1		123	3			2	175	△ 17	192
	鳥海	2			14	3		31			146	5			6	207	9	198
	その他																△ 5	5
地域別 搬送人員	計	7	2	182	19	10	369	5	16	1,847	277				2,734	△ 103	2,837	
	本庄	3	2	85	9	4	183	4	9	884	225				1,408	△ 68	1,476	
	矢島			11			36		3	162	21				233	12	221	
	岩城			7	3	4	22		1	145	19				201	△ 50	251	
	由利	1			15	2		16		103	2				139	11	128	
	大内				16			36		3	188	1			244	△ 2	246	
	東由利				14	1		24			110	1			150	△ 9	159	
	西目				18	1	2	23	1		115	3			163	△ 13	176	
	鳥海	3			16	3		29			140	5			196	22	174	
	その他															△ 6	6	
傷病程度別 搬送人員	計	7	2	182	19	10	369	5	16	1,847	277				2,734	△ 103	2,837	
	男	軽症	3		56	5	5	92	1		334	10				506	△ 107	613
		中等症			1	20	5	2	61		4	346	92			531	37	494
		重症				8	5		34		1	157	55			260	16	244
		死亡			1	3			8		1	45	2			60	△ 9	69
		その他										1				1		
	小計	3	2	87	15	7	195	1	6	883	159				1,358	△ 62	1,420	
	女	軽症	2		65	2	1	57	3	3	420	10				563	△ 40	603
		中等症	2			19	1	2	52	1	5	336	67			485	6	479
		重症				9	1		57		1	166	41			275	△ 15	290
死亡					2			8		1	42				53	8	45	
その他																		
小計	4		95	4	3	174	4	10	964	118				1,376	△ 41	1,417		
覚知別	計	7	5	178	19	10	387	6	27	1,941	277			37	2,894	△ 88	2,982	
	専用電話	1		20	8	1	228	2	9	1,213	154			19	1,655	△ 14	1,669	
	携帯	119	2	2	92	8	8	132	1	13	482	1		8	749	△ 34	783	
	加入電話				10	2		14			130	72			5	233	△ 8	241
	警察電話			3	50		1	4	1	5	25				4	93	△ 17	110
	かけつけ							8			83				1	92	△ 20	112
	自己覚知	4			5	1		1			6	1			19	△ 1	20	
	その他				1						2	49			53	6	47	

救急活動状況の推移

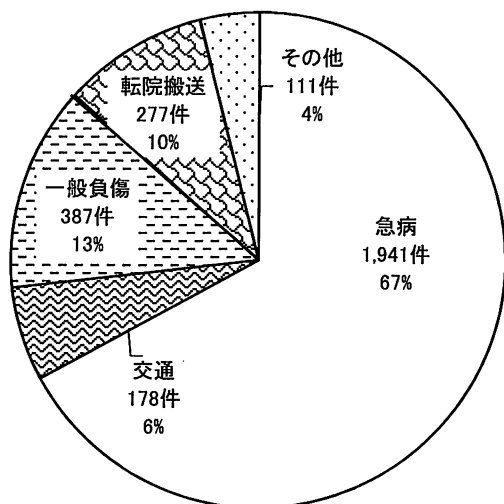


月別救急活動状況



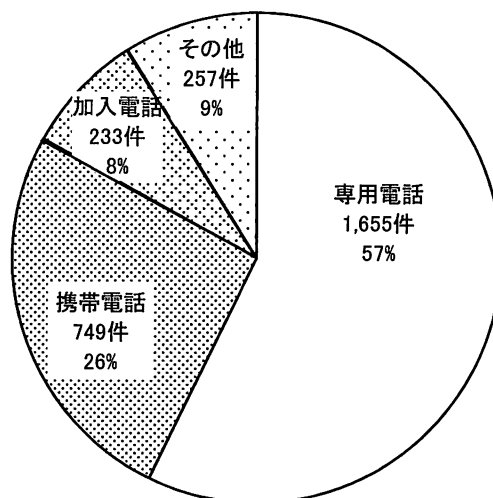
事故種別出場状況

H31. 1. 1～R1. 12. 31



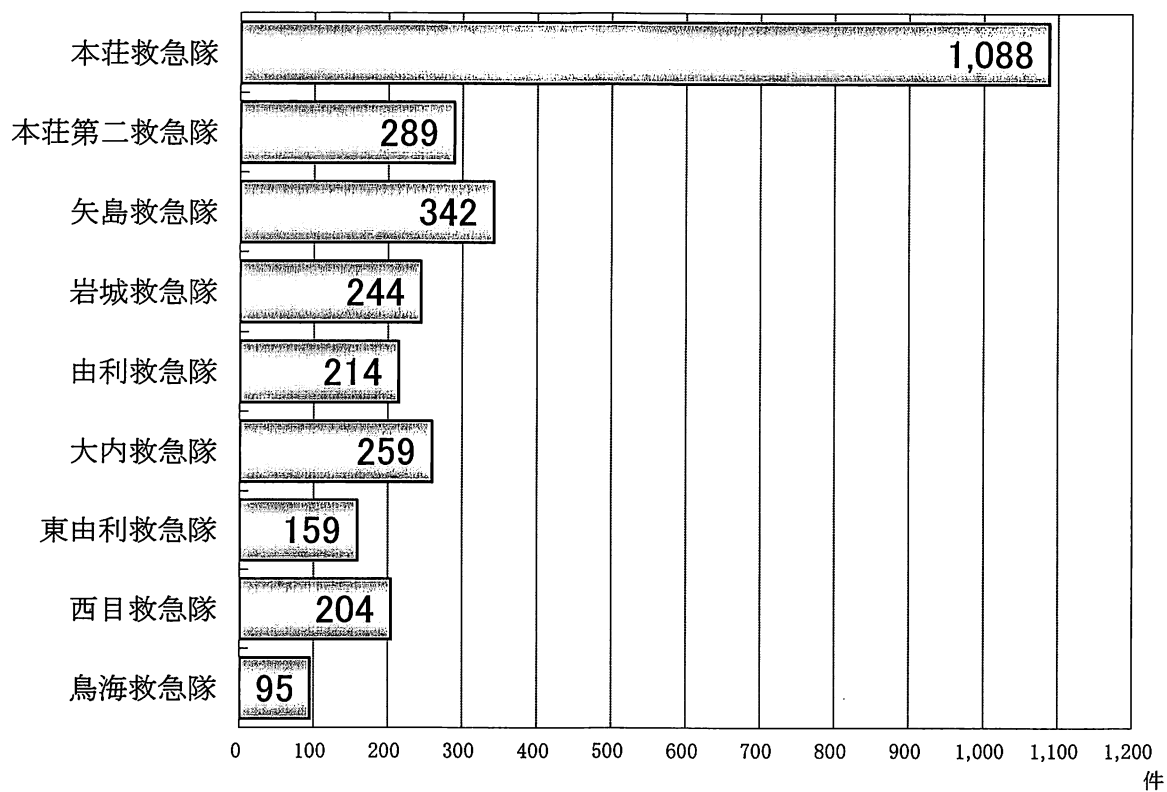
覚知別出場状況

H31. 1. 1～R1. 12. 31



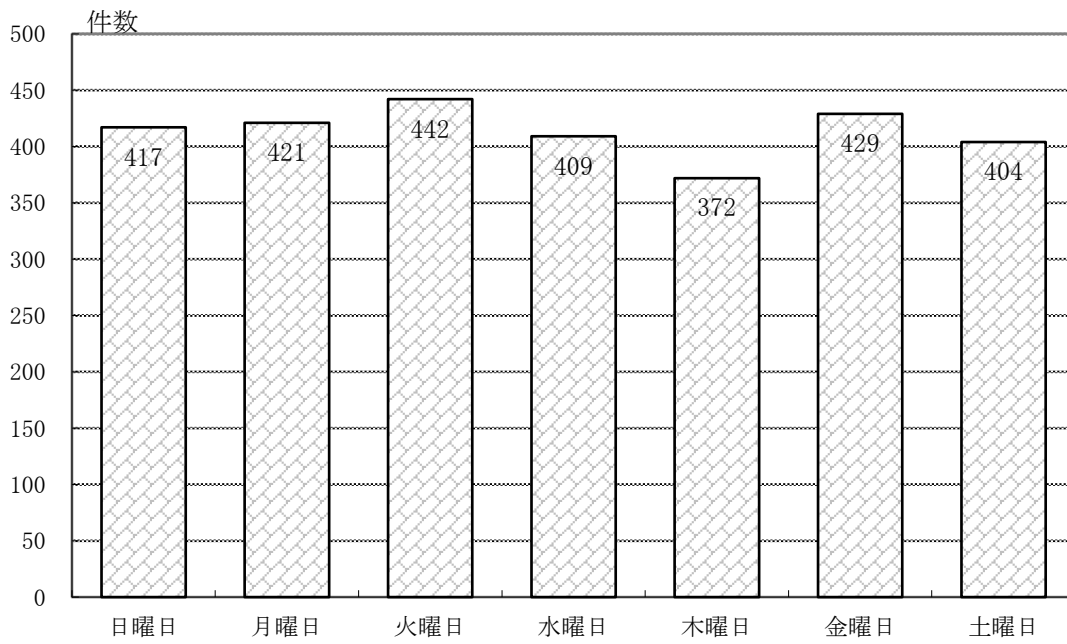
救急隊別出場件数

H31. 1. 1～R1. 12. 31



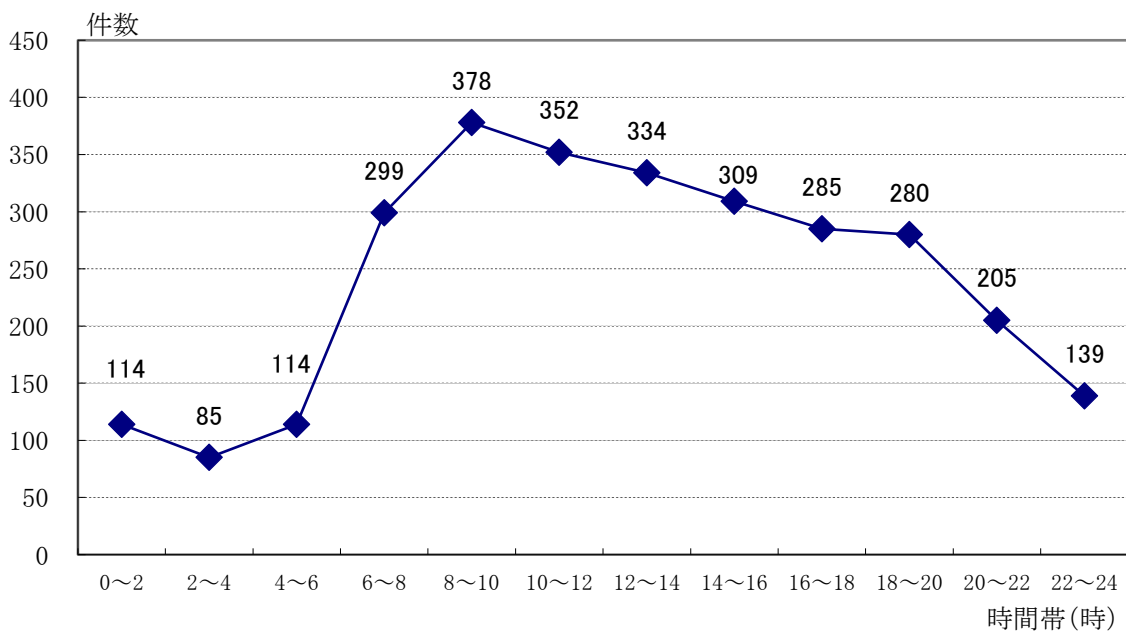
曜日別出場状況

H31. 1. 1～R1. 12. 31



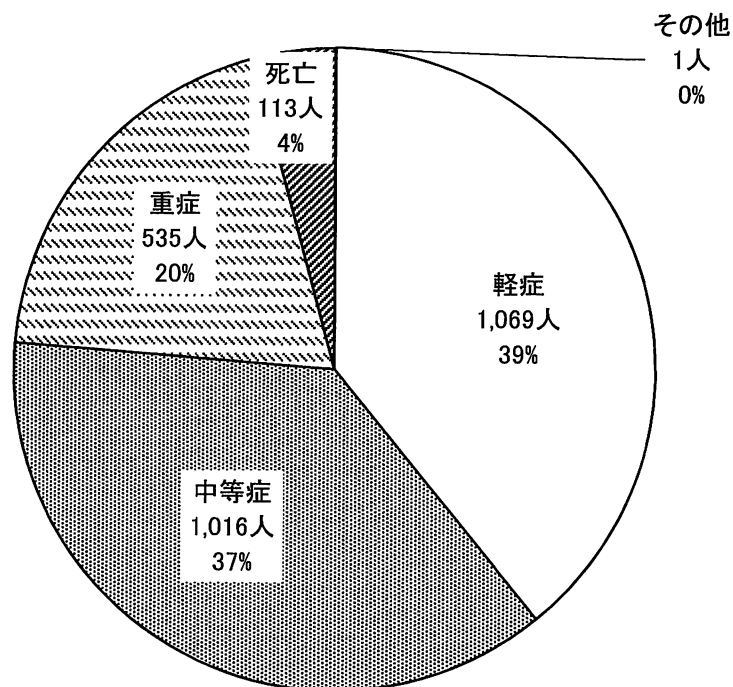
時間帯別出場状況

H31. 1. 1～R1. 12. 31



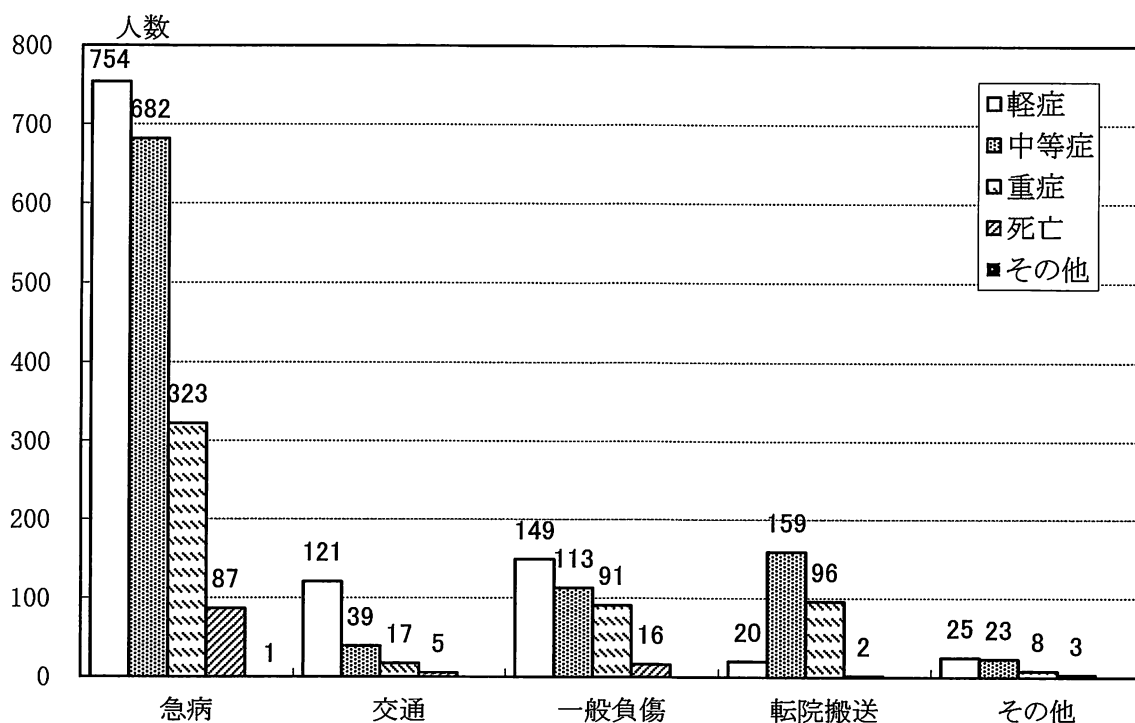
搬送人員の傷病程度状況

H31. 1. 1～R1. 12. 31



事故種別搬送人員

H31. 1. 1～R1. 12. 31



現場到着所要時間別出場件数

H31. 1. 1～R1. 12. 31

所要時間 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着 最短時間 (分)	現場到着 最長時間 (分)	現場到着 平均時間 (分)
	急病	78	117	1,144	553		49	1,941	0
交通	0	11	88	67	12	178	3	30	10.1
一般負傷	10	15	227	125	10	387	0	41	9.1
上記以外	2	72	222	74	18	388	0	55	8.2
計	90	215	1,681	819	89	2,894			

※ 覚知から現場到着までに要した時間区分ごとの件数

収容所要時間別搬送人員

H31. 1. 1～R1. 12. 31

所要時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計	収容最短 所要時間 (分)	収容最長 所要時間 (分)	収容平均 所要時間 (分)
	急病	0	78	607	1,018	143		1	1,847	12
交通	0	4	39	109	30	0	182	16	89	41.5
一般負傷	0	7	120	207	33	2	369	15	126	38.4
上記以外	0	57	66	141	71	1	336	12	157	41.1
計	0	146	832	1,475	277	4	2,734			

※ 覚知から傷病者を医療機関に収容した時までに要した時間区分ごとの収容人員

年齢区分別傷病程度別搬送人員

H31.1.1～R1.12.31

傷病程度	年齢区分					
	新生児 0～28日	乳幼児 29日～6歳	少年 7歳～17歳	成人 18歳～64歳	老人 65歳以上	計
死亡			2	15	96	113
重症	6	3	8	77	441	535
中等症	8	29	21	206	752	1,016
軽症		38	34	341	656	1,069
その他				1		1
計	14	70	65	640	1,945	2,734

急病に係る疾病分類別傷病程度別搬送人員

H31.1.1～R1.12.31

傷病程度	分類項目	循環系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系
		脳疾患	心疾患				
死亡		1	28	1	14		
重症		110	62	33	50	3	
中等症		67	45	104	78	10	31
軽症		10	18	69	36	69	55
その他							
計		188	153	207	178	82	86

傷病程度	分類項目	泌尿器系	新生物	その他	症状兆候 診断名不明 確の状態	計
重症		7	11	28	19	323
中等症		48	22	142	135	682
軽症		30	7	132	328	754
その他					1	1
計		85	50	306	512	1,847

救急隊員の行った応急処置件数

H31.1.1～R1.12.31

事故種別	応急処置	対象人員	止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生		酸素吸入	保温	被覆
						自動				
急病		1,841	17	10	1	89	32	484	82	16
交通		179	12	133	0	5	4	22	6	27
一般負傷		369	46	58	0	18	9	57	15	81
その他		307	7	17	0	4	2	97	9	16
計		2,696	82	218	1	116	47	660	112	140

事故種別	応急処置	在宅療法継続	除細動	静脈路確保		アドレナリン投与	気道確保※		その他	
				CPA前	CPA後		食道閉鎖式	気管挿管		
急病		100	6	17	46	17	120	20	1	71
交通		0	0	4	3	3	6	0	0	0
一般負傷		8	0	2	13	3	21	4	5	6
その他		6	0	0	3	0	4	1	0	6
計		114	6	23	65	23	151	25	6	83

事故種別	応急処置	血圧測定	聴診器	血中酸素飽和度測定	心電図	血糖測定	ブドウ糖投与	計
交通	173	72	175	134	0	0	775	
一般負傷	344	69	349	325	5	0	1,420	
その他	239	44	290	190	2	0	934	
計	2,479	891	2,576	2,385	139	9	10,273	

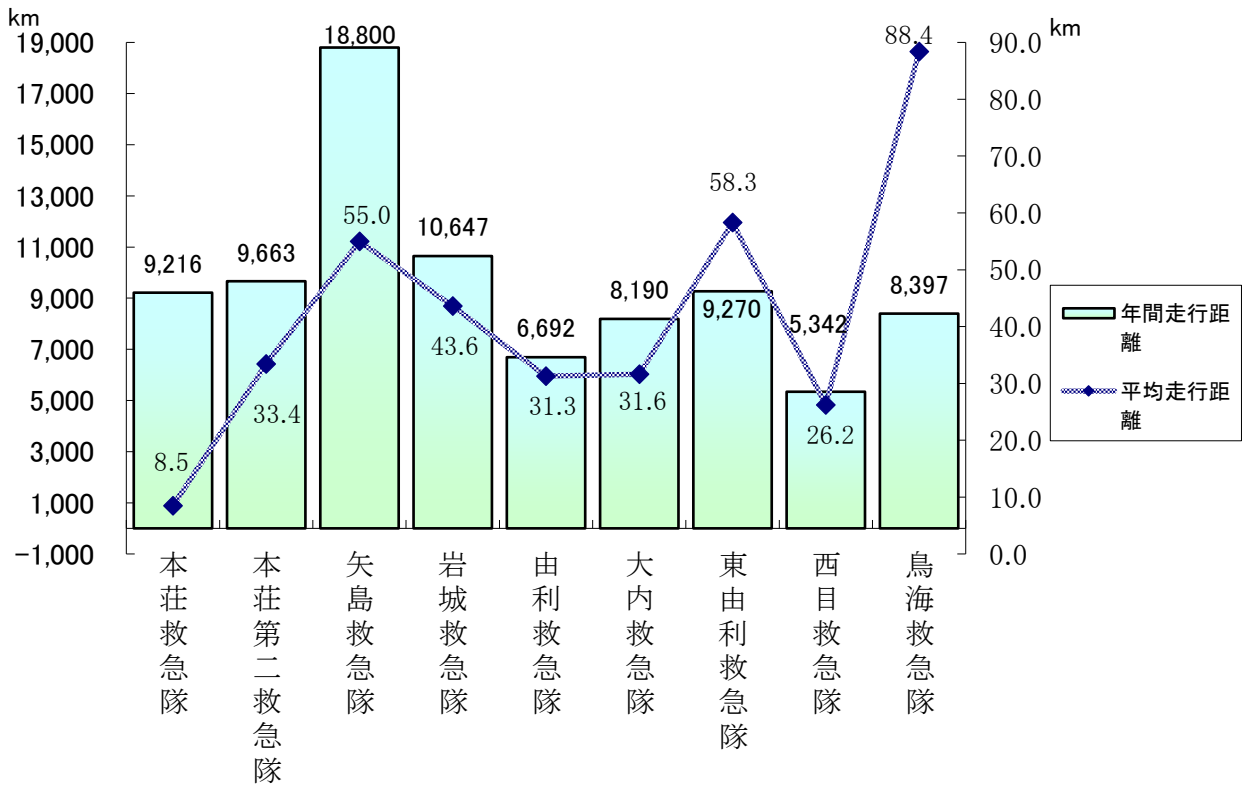
※ 食道閉鎖式(LT)・気管挿管は、気道確保に件数が計上されています。

住民に対する応急手当普及啓発活動実施状況

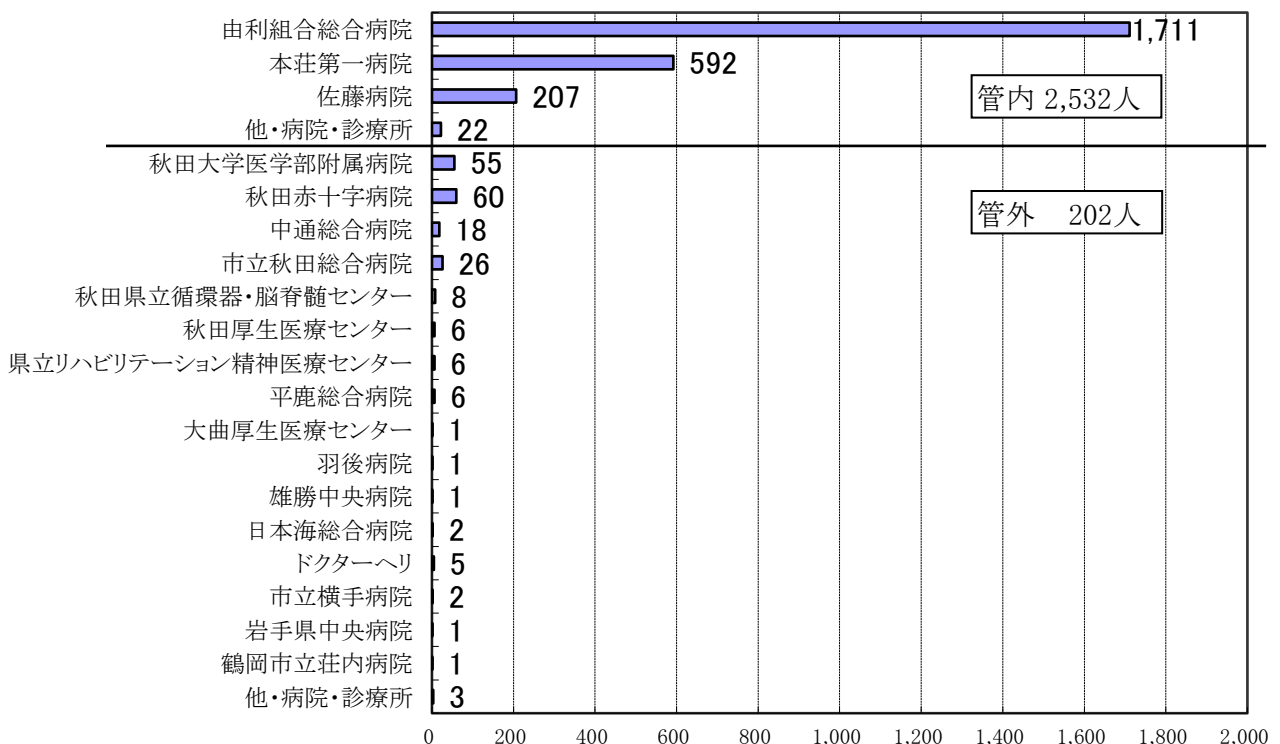
H31.1.1～R1.12.31

上級救命講習		普通救命講習		入門コース		その他の講習		計	
回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員
3	36	72	982	24	698	78	1,985	177	3,701

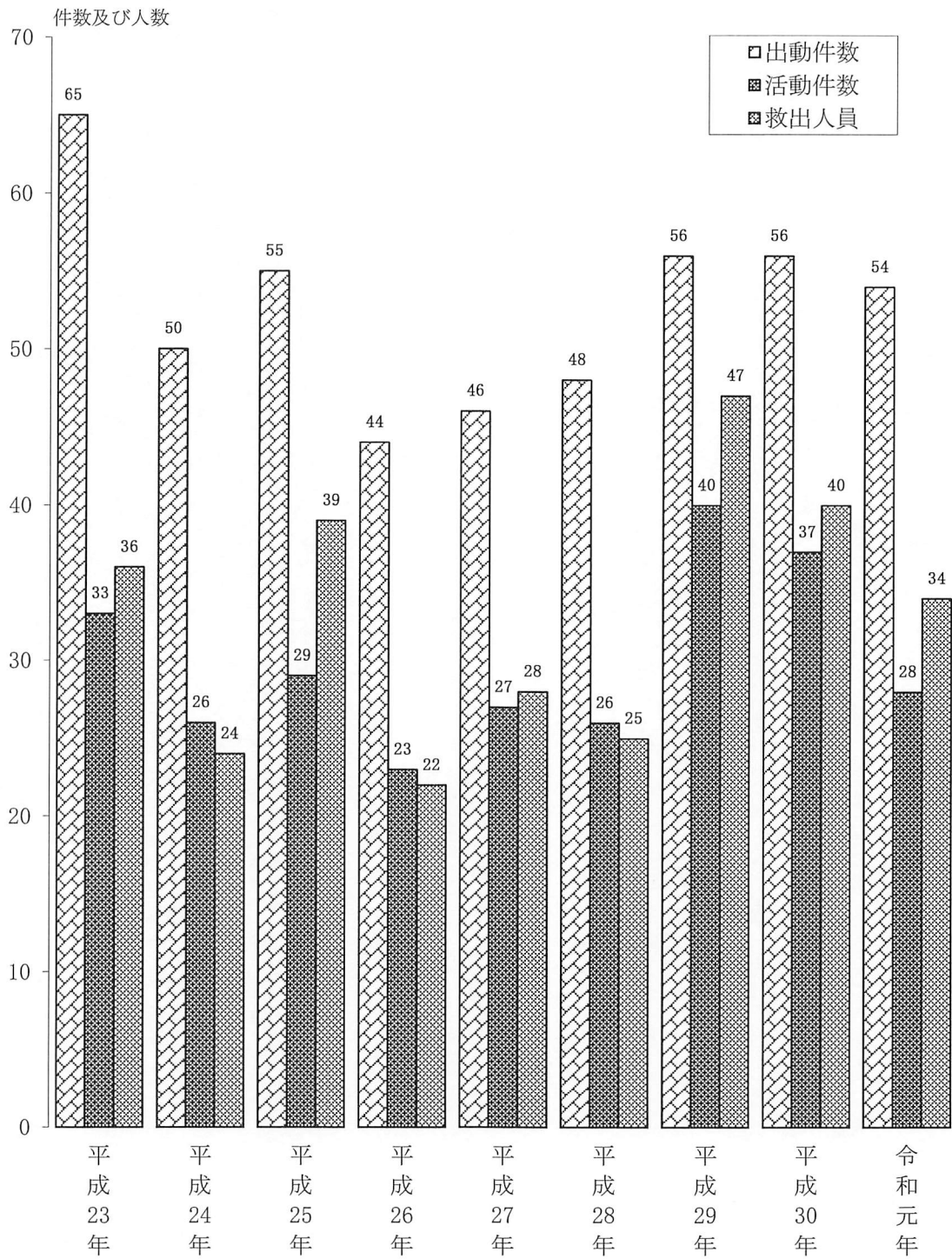
救急隊別年間走行距離及び平均走行距離



病院別搬送人員数



救助活動状況の推移



救助出動状況

H31. 1. 1～R1. 12. 31

区分		事故種別		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 災 害	機 械 等 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 故	合 計
		火 災	建 物									
出 動	件 数			24	4		2				24	54
	人 員			251	45		18				430	744
	車 両 台 数			85	16		6				113	220
活 動	件 数			9	3		1				15	28
	人 員			66	15		9				247	337
	車 両 台 数			19	5		3				62	89
救出人員				12	3		1				18	34

事故発生場所別出動状況

H31. 1. 1～R1. 12. 31

区分		事故種別		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 災 害	機 械 等 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 故	合 計
		火 災	建 物									
屋 内	住 居										5	5
	そ の 他 の 屋 内											
屋 路	道 高速道路			1							1	2
	道 その他の 路			19								19
水 面	内 水面				2							2
	外 水面				2							2
外	山 岳										9	9
	そ の 他 の 屋 外			4			2				9	15
地 下												
そ の 他												
計				24	4		2				24	54

消 防 団

消 防 団 の 沿 革

平成17年	3月22日	本荘市、矢島町、岩城町、由利町、大内町、東由利町、西目町、鳥海町の1市7町の合併により由利本荘市が誕生し、由利本荘市消防団発足となる。初代消防団長に、菅原正一氏、就任。 8支団で組織され、団長、副団長2名が支団長を兼ねる。 定数 1,802人
平成18年	4月 1日	矢島支団第5分団の3部を1の部へ統合する。
平成18年	7月 1日	消防団本部の拡充を図る。 由利本荘市消防団東由利支団の班制を部制に変更し、組織体制を整備する。
平成19年	4月 1日	由利本荘市消防団鳥海支団の分団統合(17分団を7分団に統合)し、新たに部を設置して組織体制を整備する。
平成19年	5月 1日	第2代消防団長に、畠山 勉氏、就任。
平成21年	1月19日	由利本荘市消防団協力事業所表示制度を開始する。
平成21年	4月 1日	由利本荘市消防団の職・階級等、組織体制の見直しを図る。 <ul style="list-style-type: none">・団長の支団長兼任を解き専任・副団長を2名から3名に変更・職に属する階級の見直し
平成21年	6月30日	機能別消防団員制度を導入する。
平成22年	9月15日	総務省消防庁より「救助資機材搭載型車両」を無償貸付される。
平成24年	2月23日	(公財)日本消防協会会長より「竿頭綬」を授与される。
平成25年	4月 1日	第3代消防団長に、周防彦宗氏、就任。
平成25年1	2月18日	総務省消防庁より「小型動力付軽自動車両」を無償貸付される。
平成26年	2月 3日	総務省消防庁より「消防団拠点資機材等セット一式」を無償貸付される。
平成26年	2月28日	(公財)日本消防協会会長より「表彰旗」を授与される。
平成26年	4月 1日	副団長の支団長兼任を解き専任化。
平成27年	3月 6日	消防庁長官より「竿頭綬」を授与される。
平成28年	4月 1日	矢島支団第1分団の2部を1の部へ統合する。
平成28年1	1月29日	(公財)日本消防協会会長より「防災2号車(デリカ)」を受納する。
平成29年	1月 1日	学生消防団活動認証制度を導入する。
平成29年	1月18日	(一社)日本損害保険協会より「小型動力ポンプ付軽消防車」を受納する。
平成29年	4月 1日	鳥海支団第7分団の第3部を第2部へ統合する。
平成30年	4月 1日	災害活動体制をより迅速に、指揮命令系統を明確にするため「支団制」から「分団制」へ組織体制の見直しを図る。 鳥海分団第6部の第3班を第1班へ統合する。
平成30年	6月 1日	岩城分団第1部3班制から1班制に再編する。 東由利分団第2部の第4班を第3班へ統合する。
平成31年	4月 1日	「由利本荘市消防団応援の店」事業を導入する。 本荘分団第4部の第2班を第1班へ統合し、4班制に再編する。

平成31年 4月 1日 岩城分団第2部の第2班を第1班へ、第3部の第2班を第1班へ統合する。
東由利分団第5部の第4班を第3班へ統合する。

令和 2年 1月24日 総務省消防庁より「救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車（3.5t未満）」
無償貸付される。

歴代消防団幹部

《歴代消防団長》

歴代	氏名	在職期間	在職年数	備考
初代	菅原正一	H17. 3. 22 ~ H19. 4. 9	2年1月	
2代	畠山勉	H19. 5. 1 ~ H25. 3. 31	5年11月	
3代	周防彦宗	H25. 4. 1 ~	7年0月	

《歴代副団長》

現職	氏名	在職期間	在職年数	備考
初代	畠山勉	H17. 3. 22 ~ H19. 4. 30	2年1月	
	遠藤満	H17. 3. 22 ~ H21. 3. 31	4年0月	
2代	高橋久	H19. 5. 1 ~ H21. 3. 31	1年11月	
3代	今野忠男	H21. 4. 1 ~ H27. 3. 31	6年0月	
	周防彦宗	H21. 4. 1 ~ H25. 3. 31	4年0月	
	池田義夫	H21. 4. 1 ~ H24. 5. 26	3年1月	
4代	石綿喜代隆	H24. 6. 20 ~ H31. 3. 31	6年9月	
5代	佐々木勝美	H25. 4. 1 ~	7年0月	
6代	田口憲一	H27. 4. 1 ~ H29. 3. 31	2年0月	
7代	齋藤安雄	H29. 4. 1 ~ R 2. 3. 31	3年0月	
8代	伊藤博	H31. 4. 1 ~	1年0月	
9代	遠藤満博	R 2. 4. 1 ~		

《歴代支団長》

支団制 H17. 3. 22~H30. 3. 31

区分	歴代	氏名	在職期間	在職年数	備考
本 荘	初代	菅原正一	H17. 3. 22 ~ H19. 4. 9	2年1月	
	2代	今野忠男	H19. 4. 26 ~ H26. 3. 31	6年11月	
	3代	田口憲一	H26. 4. 1 ~ H27. 3. 31	1年0月	
	4代	遠藤満博	H27. 4. 1 ~ H30. 3. 31	3年0月	
矢 島	初代	佐藤近美	H17. 3. 22 ~ H21. 3. 31	4年0月	
	2代	金子嘉博	H21. 4. 1 ~ H25. 3. 31	4年0月	
	3代	坂田充	H25. 4. 1 ~ H30. 3. 31	5年0月	
岩 城	初代	今野春雄	H17. 3. 22 ~ H17. 10. 31	0年7月	
	2代	前川 侔	H17. 11. 1 ~ H21. 3. 31	3年5月	
	3代	今野文夫	H21. 4. 1 ~ H29. 3. 31	8年0月	
	4代	伊藤博	H29. 4. 1 ~ H30. 3. 31	1年0月	
由 利	初代	佐々木量一	H17. 3. 22 ~ H21. 3. 31	4年0月	
	2代	佐々木勝美	H21. 4. 1 ~ H26. 3. 31	5年0月	
	3代	阿部一彦	H26. 4. 1 ~ H30. 3. 31	4年0月	

《歴代支団長》

支団制 H17. 3. 22～H30. 3. 31

区分	歴代	氏名	在職期間	在職年数	備考
大内	初代	遠藤 満	H17. 3. 22 ～ H21. 3. 31	4年0月	
	2代	齊藤 貞雄	H21. 4. 1 ～ H25. 3. 31	4年0月	
	3代	鈴木 輝秋	H25. 4. 1 ～ H29. 3. 31	4年0月	
	4代	正木 修一	H29. 4. 1 ～ H30. 3. 31	1年0月	
東由利	初代	畠山 勉	H17. 3. 22 ～ H21. 3. 31	4年0月	
	2代	石綿 喜代隆	H21. 4. 1 ～ H26. 3. 31	5年0月	
	3代	長谷山 肇	H26. 4. 1 ～ H30. 3. 31	4年0月	
西目	初代	高橋 久	H17. 3. 22 ～ H21. 3. 31	4年0月	
	2代	池田 義夫	H21. 4. 1 ～ H24. 5. 26	3年1月	
	3代	岡田 香	H24. 6. 1 ～ H27. 3. 31	2年10月	
	4代	齋藤 安雄	H27. 4. 1 ～ H29. 3. 31	2年0月	
	5代	釜台 敏勝	H29. 4. 1 ～ H30. 3. 31	1年0月	
鳥海	初代	周防 彦宗	H17. 3. 22 ～ H25. 3. 31	7年1月	
	2代	原田 俊孝	H25. 4. 1 ～ H28. 3. 31	3年0月	
	3代	佐藤 義一	H28. 4. 1 ～ H30. 3. 31	2年0月	

《歴代分団長》

※H30. 4. 1より分団制

区分	歴代	氏名	在職期間	在職年数	備考
本庄	初代	遠藤 満博	H30. 4. 1 ～ R 2. 3. 31	2年0月	前支団長
	2代	阿部 昭彦	R 2. 4. 1 ～		
矢島	初代	坂田 充	H30. 4. 1 ～ H31. 3. 31	1年0月	前支団長
	2代	佐藤 一弘	H31. 4. 1 ～	1年0月	
岩城	初代	伊藤 博	H30. 4. 1 ～ H31. 3. 31	1年0月	前支団長
	2代	今野 強	H31. 4. 1 ～	1年0月	
由利	初代	阿部 一彦	H30. 4. 1 ～	2年0月	前支団長
大内	初代	東海林 優	H30. 4. 1 ～	2年0月	
東由利	初代	長谷山 肇	H30. 4. 1 ～ H31. 3. 31	1年0月	前支団長
	2代	佐々木 善永	H31. 4. 1 ～	1年0月	
西目	初代	釜台 敏勝	H30. 4. 1 ～	2年0月	前支団長
鳥海	初代	佐藤 義一	H30. 4. 1 ～	2年0月	前支団長

《現職副分団長》

※H30. 4. 1より分団制

区分	現況	氏名	在職期間	在職年数	備考
本 荘	2 名	渡 辺 静 一	H29. 4. 1 ~ H30. 3. 31	1年0月	前副支団長
			H30. 4. 1 ~	2年0月	
		田 口 隆	R 2. 4. 1 ~		
矢 島	2 名	渡 辺 憲	H27. 4. 1 ~ H30. 3. 31	3年0月	前副支団長
			H30. 4. 1 ~	2年0月	
		茂 木 和 也	H31. 4. 1 ~	1年0月	
岩 城	2 名	金 森 久 雄	H29. 4. 1 ~ H30. 3. 31	1年0月	前副支団長
			H30. 4. 1 ~	2年0月	
		吉 田 誠 一	H31. 4. 1 ~	1年0月	
由 利	2 名	木 村 伸 英	H24. 12. 15 ~ H30. 3. 31	5年3月	前副支団長
			H30. 4. 1 ~	2年0月	
		佐 藤 正 樹	H26. 4. 1 ~ H30. 3. 31	4年0月	前副支団長
			H30. 4. 1 ~	2年0月	
大 内	2 名	大 友 仁 志	H29. 4. 1 ~ H30. 3. 31	1年0月	前副支団長
			H30. 4. 1 ~	2年0月	
		石 井 忠 幸	H31. 4. 1 ~	1年0月	
東由利	2 名	遠 藤 信 弘	H26. 4. 1 ~ H30. 3. 31	4年0月	前副支団長
			H30. 4. 1 ~	2年0月	
		遠 藤 勝	H31. 4. 1 ~	1年0月	
西 目	2 名	佐々木 良 一	H27. 4. 1 ~ H30. 3. 31	3年0月	前副支団長
			H30. 4. 1 ~	2年0月	
		齊 藤 聖 司	H29. 4. 1 ~ H30. 3. 31	1年0月	前副支団長
			H30. 4. 1 ~	2年0月	
鳥 海	3 名	村 上 吉 和	H25. 4. 1 ~ H30. 3. 31	5年0月	前副支団長
			H30. 4. 1 ~	2年0月	
		佐 藤 利 市	H28. 4. 1 ~ H30. 3. 31	2年0月	前副支団長
			H30. 4. 1 ~	2年0月	
		高 橋 豊 昭	H30. 4. 1 ~	2年0月	

在職年数別団員実数

R2.4.1現在（単位：人）

分団別 年数	消防団 本部	本 荘 分 団	矢 島 分 団	岩 城 分 団	由 利 分 団	大 内 分 団	東由利 分 団	西 目 分 団	鳥 海 分 団	計
5年未満	3	96	28	15	53	22	13	30	15	275
5年以上 10年未満		105	23	24	51	31	17	35	23	309
10年以上 15年未満		69	19	20	28	33	26	24	45	264
15年以上 20年未満		42	23	35	22	30	18	11	37	218
20年以上 25年未満		45	15	25	10	20	25	6	48	194
25年以上 30年未満		37	10	13	5	10	19	3	43	140
30年以上	4	39	2	19	2	10	15	4	55	150
計	7	433	120	151	171	156	133	113	266	1,550

年齢別団員実数

R2.4.1現在（単位：人）

分団別 年数	消防団 本部	本 荘 分 団	矢 島 分 団	岩 城 分 団	由 利 分 団	大 内 分 団	東由利 分 団	西 目 分 団	鳥 海 分 団	計
20歳未満									1	1
20歳～24歳		6	5		6	3	7	1	5	33
25歳～29歳		24	11	5	15	6	2	7	7	77
30歳～34歳		53	18	6	40	14	14	24	38	207
35歳～39歳		99	28	17	56	26	22	27	37	312
40歳～44歳		62	28	25	34	30	22	31	35	267
45歳～49歳		64	10	29	11	28	15	12	28	197
50歳～54歳	1	45	13	25	6	20	10	4	26	150
55歳～59歳	2	38	7	21	3	13	13	3	39	139
60歳以上	4	42		23		16	28	4	50	167
計	7	433	120	151	171	156	133	113	266	1,550

消防団員階級別定数

R2. 4. 1現在 (単位:人)

階級 分団別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団 本 部	1	3			2	2	20	28
本 荘 分 団			1	2	8	96	383	490
矢 島 分 団			1	2	7	21	109	140
岩 城 分 団			1	2	8	40	129	180
由 利 分 団			1	2	7	30	145	185
大 内 分 団			1	2	7	30	174	214
東由利分団			1	2	6	34	99	142
西 目 分 団			1	2	6	28	86	123
鳥 海 分 団			1	3	9	30	257	300
計	1	3	8	17	60	311	1,402	1,802

消防団員年報酬

R2. 4. 1現在 (単位:円)

区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	機関員
金 額	90,000	80,000	78,000	68,000	52,000	31,000	24,000	8,000

消防団員諸手当

R2. 4. 1現在 (単位:円)

非常災害発生により職務に従事した場合	8時間以内 8時間を超える	1回につき 3,000 1回につき 6,000
警戒、訓練の職務に従事した場合	——	1回につき 2,500

消防団員及びポンプ車1台に対する人口等の比較

R2.4.1現在

区分		面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	算定基準	
					団員ポンプ数	面積、人口、世帯数
本荘分団	消防団員 1人につき	0.43	95.60	40.41	団員 433 人 ポンプ 39 台	面積 188.34 km ²
	消防団ポンプ 1台につき	4.83	1,061.41	448.64		人口 41,395 人 世帯数 17,497 世帯
矢島分団	消防団員 1人につき	1.03	36.18	13.46	団員 120 人 ポンプ 6 台	面積 123.63 km ²
	消防団ポンプ 1台につき	20.61	723.50	269.17		人口 4,341 人 世帯数 1,615 世帯
岩城分団	消防団員 1人につき	0.72	32.72	14.61	団員 151 人 ポンプ 13 台	面積 108.10 km ²
	消防団ポンプ 1台につき	8.32	380.08	169.69		人口 4,941 人 世帯数 2,206 世帯
由利分団	消防団員 1人につき	0.56	26.11	8.78	団員 171 人 ポンプ 16 台	面積 96.53 km ²
	消防団ポンプ 1台につき	6.03	279.06	93.81		人口 4,465 人 世帯数 1,501 世帯
大内分団	消防団員 1人につき	1.16	46.01	16.52	団員 156 人 ポンプ 14 台	面積 181.72 km ²
	消防団ポンプ 1台につき	12.98	512.64	184.07		人口 7,177 人 世帯数 2,577 世帯
東由利分団	消防団員 1人につき	1.13	23.84	9.30	団員 133 人 ポンプ 14 台	面積 150.17 km ²
	消防団ポンプ 1台につき	10.73	226.50	88.36		人口 3,171 人 世帯数 1,237 世帯
西目分団	消防団員 1人につき	0.34	51.50	21.10	団員 113 人 ポンプ 13 台	面積 38.06 km ²
	消防団ポンプ 1台につき	2.93	447.69	183.38		人口 5,820 人 世帯数 2,384 世帯
鳥海分団	消防団員 1人につき	1.21	16.26	6.01	団員 266 人 ポンプ 15 台	面積 322.53 km ²
	消防団ポンプ 1台につき	21.50	288.33	106.60		人口 4,325 人 世帯数 1,599 世帯

消 防 ポ ン プ 一 覧 表

R2. 4. 1現在

種別 所属		自動車番号	車名	種別	ポンプ 製作所	馬力	放水量 (ℓ)	購入配置 年 月	備 考	
本 庄 分 団	第一部	第1班	秋田800す 2988	トヨタ	可搬	芝浦	46	1,210	H27.10	積載
		2	秋田800す 3747	トヨタ	可搬	芝浦	58	1,420	H22.7	積載
		3	秋田800さ 7401	ニッサン	可搬	芝浦	43	1,210	H15.11	積載
		4	秋田800さ 6692	ニッサン	可搬	芝浦	58	1,420	H18.10	積載
		5	秋田800す 5636	ニッサン	可搬	芝浦	44	1,150	R 2.1	積載
	二	第1班	秋田800さ 9816	いすゞ	可搬	トーハツ	30	1,000	H22.9	積載
		2	秋田880す 4936	トヨタ	可搬	芝浦	58	1,420	H22.7	積載
		3	秋田800す 2989	トヨタ	可搬	芝浦	58	1,420	H19.9	積載
		4	秋田88す 6734	ニッサン	可搬	芝浦	58	1,420	H21.10	積載
		5	秋田800さ 6690	ニッサン	可搬	芝浦	58	1,420	H18.10	積載
		6	秋田800す 706	ニッサン	可搬	芝浦	58	1,420	H30.10	積載
		7	秋田800す 3748	トヨタ	可搬	芝浦	40	1,420	H29.12	積載
	三	第1班	秋田800さ 5057	ニッサン	可搬	芝浦	58	1,420	H21.10	積載
		2	秋田800さ 8036	ニッサン	可搬	芝浦	34	1,200	H17.12	積載
		3	秋田800す 5512	トヨタ	可搬	芝浦	58	1,420	H18.10	積載
		4	秋田800す 3750	トヨタ	可搬	芝浦	58	1,420	H19.9	積載
	四	第1班	秋田800す 4935	トヨタ	可搬	芝浦	40	1,420	H29.12	積載
		2	秋田800す 125	ニッサン	可搬	芝浦	58	1,420	H18.10	積載
		3	秋田800す 1330	ニッサン	可搬	芝浦	40	1,420	H28.11	積載
		4	秋田800さ 720	ニッサン	可搬	芝浦	34	1,210	H17.12	積載
	五	第1班	秋田800さ 8035	ニッサン	可搬	芝浦	58	1,420	H23.10	積載
		2	秋田800す 2990	トヨタ	可搬	芝浦	58	1,420	H20.10	積載
		3	秋田800す 4251	トヨタ	可搬	芝浦	58	1,420	H20.10	積載
		4	秋田800す 3746	トヨタ	可搬	芝浦	40	1,420	H26.10	積載
		5	秋田800さ 7402	ニッサン	可搬	芝浦	46	1,210	H27.10	積載
		6	秋田800さ 5058	ニッサン	可搬	芝浦	40	1,420	R 1.8	積載
		7	秋田88す 6735	ニッサン	可搬	芝浦	58	1,420	H24.7	積載
		8	秋田800す 702	ニッサン	可搬	芝浦	40	1,420	R 1.8	積載
	六	第1班	秋田800さ 7403	ニッサン	可搬	芝浦	58	1,420	H30.10	積載
		2	秋田800す 4252	トヨタ	可搬	芝浦	58	1,420	H20.10	積載
		3	秋田800さ 6693	ニッサン	可搬	芝浦	58	1,420	H23.10	積載
		4	秋田800す 3751	トヨタ	可搬	芝浦	58	1,420	H19.9	積載
	七	第1班	秋田800さ 6691	ニッサン	可搬	芝浦	46	1,210	H27.10	積載
		2	秋田800さ 5779	ニッサン	可搬	芝浦	34	1,210	H17.12	積載
		3	秋田800さ 2116	ニッサン	可搬	芝浦	58	1,420	H20.10	積載
4		秋田880あ 1514	ダイハツ	可搬	ラビット	45	1,200	H29.1	軽積載	
5		秋田800さ 8034	ニッサン	可搬	芝浦	40	1,420	H28.11	積載	
6		秋田800す 5513	トヨタ	可搬	芝浦	40	1,420	H26.10	積載	
7		秋田800す 1329	ニッサン	可搬	芝浦	40	1,420	R 1.9	積載	

所属		種別		自動車番号	車名	種別	ポンプ製作所	馬力	放水量(ℓ)	購入配置年 月	備考
		第一班	第二班								
矢島分団	第一	第1班		秋田800さ 9557	ニッサン	可搬	トーハツ	58	1,440	H22. 3	積載
	二	第1班		秋田830す 201	ニッサン	可搬	トーハツ	40	1,400	H13. 6	積載
	三	第1班		秋田800さ 8865	ニッサン	可搬	トーハツ	58	1,440	H21. 3	積載
	四	第1班		秋田800す 4464	トヨタ	可搬	トーハツ	30	1,130	H30. 1	積載
	五	第1班		秋田830さ 502	ニッサン	可搬	トーハツ	40	1,400	H13. 6	積載
	六	第1班		秋田830さ 602	ニッサン	可搬	トーハツ	40	1,400	H13. 6	積載
岩城分団	第一	第1班		秋田 80あ 1701	三菱	可搬	芝浦	40	1,420	H29.10	軽積載
	二	第1班		秋田880あ 1534	スズキ	可搬	芝浦	58	1,420	H24.11	軽積載
	三	第1班		秋田880あ 863	スズキ	可搬	芝浦	58	1,440	H21.11	軽積載
	四	第1班		秋田880あ 1278	スズキ	可搬	芝浦	58	1,420	H23.11	軽積載
		2		秋田880あ 759	スズキ	可搬	芝浦	40	1,200	H27.11	軽積載
		3		秋田 80あ 1646	三菱	可搬	芝浦	40	1,420	H28.11	軽積載
		4		秋田 80あ 1692	三菱	可搬	芝浦	58	1,420	H28.11	軽積載
	五	第1班		秋田880あ 1408	スズキ	可搬	芝浦	40	1,200	H22.10	軽積載
		2		秋田880あ 998	スズキ	可搬	芝浦	58	1,440	H20.10	軽積載
		3		秋田880あ 566	三菱	可搬	芝浦	40	1,420	H28.11	軽積載
	六	第1班		秋田880あ 1152	スズキ	可搬	芝浦	58	1,420	H18. 9	軽積載
		2		秋田880あ 1652	スズキ	可搬	芝浦	40	1,420	H26.11	軽積載
3			秋田880あ 565	三菱	可搬	芝浦	40	1,200	H17.11	軽積載	

所属		種別	自動車番号	車名	種別	ポンプ製作所	馬力	放水量(ℓ)	購入配置年 月	備考	
由利分団	第一部	第1班	秋田800す 3083	トヨタ	可搬	ラビット	45	1,200	H27.11	積載	
		2	秋田800さ 9559	ニッサン	可搬	トーハツ	58	1,440	H22.3	積載	
	二	第1班	秋田800す 5035	トヨタ	可搬	トーハツ	30	1,130	H30.12	積載	
		2	秋田800さ 8033	ニッサン	可搬	トーハツ	70	1,540	H19.11	積載	
		3	秋田800さ 2059	ニッサン	可搬	トーハツ	46	1,200	H12.12	積載	
	三	第1班	秋田800す 1324	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H25.2	積載	
		2	秋田800す 5034	トヨタ	可搬	トーハツ	30	1,130	H30.12	積載	
			秋田88す 6452	ニッサン	可搬	トーハツ	40	1,420	H19.10	積載	
	四	第1班	秋田800す 3082	トヨタ	可搬	ラビット	45	1,200	H27.11	積載	
		2	秋田800さ 8863	ニッサン	可搬	トーハツ	58	1,440	H21.3	積載	
	五	第1班	秋田800す 5036	トヨタ	可搬	トーハツ	30	1,130	H30.12	積載	
		2	秋田88す 6565	ニッサン	可搬	トーハツ	45	1,200	H8.12	積載	
			秋田800す 2583	トヨタ	可搬	トーハツ	40	1,420	H27.2	積載	
	六	第1班	秋田800す 771	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H24.3	積載	
		2	秋田800さ 9884	ニッサン	可搬	トーハツ	58	1,440	H22.10	積載	
		3	秋田800す 4462	トヨタ	可搬	トーハツ	30	1,130	H30.1	積載	
	大内分団	第一部	第1班	秋田800す 4461	トヨタ	可搬	トーハツ	30	1,130	H30.1	積載
			2	秋田800す 5616	トヨタ	可搬	トーハツ	30	1,130	R1.12	積載
二		第1班	秋田800さ 6753	ニッサン	可搬	トーハツ	70	1,540	H18.3	積載	
		2	秋田800さ 6752	ニッサン	可搬	トーハツ	70	1,540	H18.3	積載	
三		第1班	秋田800す 1993	トヨタ	可搬	トーハツ	40	1,420	H26.3	積載	
		2	秋田88さ 7433	ニッサン	可搬	トーハツ	65	1,520	H9.10	積載	
四		第1班	秋田800さ 8864	ニッサン	可搬	トーハツ	58	1,440	H21.3	積載	
		2	秋田880さ 4750	ニッサン	可搬	トーハツ	70	1,623	H15.9	積載	
五		第1班	秋田800す 2585	トヨタ	可搬	トーハツ	40	1,420	H27.2	積載	
		2	秋田800さ 9558	ニッサン	可搬	トーハツ	58	1,440	H22.3	積載	
		3	秋田800さ 79	ニッサン	可搬	トーハツ	65	1,520	H11.6	積載	
六		第1班	秋田800さ 1415	ニッサン	可搬	芝浦	65	1,520	H12.6	積載	
	2	秋田800さ 80	ニッサン	可搬	芝浦	65	1,520	H11.6	積載		
	3	秋田800さ 4748	ニッサン	可搬	芝浦	70	1,623	H15.9	積載		

所属		種別	自動車番号	車名	種別	ポンプ製作所	馬力	放水量(ℓ)	購入配置年月	備考
東 由 利 分 団	第一部	第1班	秋田800さ 9560	ニッサン	可搬	トーハツ	58	1,440	H22. 3	積載
		2	秋田 88す 8716	ニッサン	可搬	芝浦	53	1,260	H10.12	積載
	二	第1班	秋田800さ 1309	ニッサン	可搬	芝浦	53	1,260	H12. 5	積載
		2	秋田 88す 8651	ニッサン	可搬	芝浦	53	1,260	H10.12	積載
		3	秋田 88す 8717	ニッサン	可搬	芝浦	53	1,260	H10.12	積載
	三	第1班	秋田 88す 8652	ニッサン	可搬	芝浦	53	1,260	H10.12	積載
		2	秋田800さ 1310	ニッサン	可搬	芝浦	53	1,260	H12. 5	積載
	四	第1班	秋田800す 3084	トヨタ	可搬	ラビット	53	1,260	H27.11	積載
		2	秋田800す 3756	トヨタ	可搬	トーハツ	30	1,130	H29. 1	積載
		3	秋田800さ 908	ニッサン	可搬	芝浦	53	1,260	H12. 2	積載
		4	秋田800さ 906	ニッサン	可搬	芝浦	53	1,260	H12. 2	積載
	五	第1班	秋田800さ 9883	ニッサン	可搬	トーハツ	58	1,440	H22.10	積載
		2	秋田800さ 907	ニッサン	可搬	芝浦	53	1,260	H12. 2	積載
		3	秋田800さ 911	ニッサン	可搬	芝浦	53	1,260	H12. 2	積載
	西 目 分 団	第一部	第1班	秋田800す 772	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H24. 3
2			秋田800す 1995	トヨタ	可搬	トーハツ	40	1,420	H26. 3	積載
3			秋田880あ 1153	スズキ	可搬	芝浦	58	1,420	H26. 3	軽積載
二		第1班	秋田800す 1994	トヨタ	可搬	トーハツ	40	1,420	H26. 3	積載
		2	秋田880あ 1154	スズキ	可搬	芝浦	58	1,420	H26. 3	軽積載
		3	秋田880あ 1155	スズキ	可搬	芝浦	58	1,420	H26. 3	軽積載
三		第1班	秋田800す 2586	トヨタ	可搬	トーハツ	40	1,420	H27. 2	積載
		2	秋田880あ 1282	スズキ	可搬	芝浦	40	1,420	H27. 3	軽積載
		3	秋田880あ 1156	スズキ	可搬	芝浦	58	1,420	H26. 3	軽積載
四		第1班	秋田800す 1325	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H25. 2	積載
		2	秋田880あ 1133	スズキ	可搬	芝浦	43	1,320	H26. 3	軽積載
		3	秋田880あ 1281	スズキ	可搬	芝浦	40	1,420	H27. 3	軽積載
五		第1班	秋田 80あ 936	スバル	可搬	芝浦	58	1,420	H17.11	軽積載

種別		自動車番号	車名	種別	ポンプ製作所	馬力	放水量(ℓ)	購入配置年 月	備考	
所属										
鳥 海 分 団	本部	秋田800さ 7428	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H19. 1	積載	
	第一部	第1班	秋田800さ 8163	日野	自動車	日本工業機械	105	2,190	H20. 2	ポンプ車
		2	秋田800さ 9885	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H22.10	積載
	二	第1班	秋田 88す 8533	ニッサン	可搬	トーハツ	40	1,420	H10.11	積載
		2	秋田 88す 7634	ニッサン	可搬	トーハツ	40	1,420	H10. 1	積載
	三	第1班	秋田 88す 8566	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H23. 7	積載
		2	秋田800す 5607	トヨタ	可搬	トーハツ	30	1,130	R 1.12	積載
	四	第1班	秋田800す 774	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H24. 3	積載
		2	秋田800さ 6724	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H18. 2	積載
	五	第1班	秋田800さ 9556	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H22. 3	積載
		2	秋田800す 5608	トヨタ	可搬	トーハツ	30	1,130	R 1.12	積載
	六	第1班	秋田800す 1323	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H25. 2	積載
		2	秋田800さ 7430	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H19. 1	積載
	七	第1班	秋田800さ 6723	ニッサン	可搬	トーハツ	41	1,420	H18. 2	積載
2		秋田 88す 8531	ニッサン	可搬	トーハツ	40	1,420	H10.11	積載	

消防水利施設状況

R2.4.1現在

区分		地域									
		合計	本庄	矢島	岩城	由利	大内	東由利	西目	鳥海	
合計		2,861	976	200	166	237	492	151	338	301	
消 火 栓	小計	1,599	748	83		65	288		222	193	
	公設	1,563	728	83		65	286		208	193	
	私設	36	20				2		14		
防 火 水 槽	公 設	小計	1,210	203	114	162	172	197	147	107	108
		100㎡以上	15	4						11	
		60㎡以上 100㎡未満	104	43	1	24	8	4		18	6
		40㎡以上 60㎡未満	1,015	148	110	130	150	176	142	74	85
		20㎡以上 40㎡未満	76	8	3	8	14	17	5	4	17
	私 設	小計	52	25	3	4		7	4	9	
		100㎡以上	5		1	2		1	1		
		60㎡以上 100㎡未満	1		1						
		40㎡以上 60㎡未満	39	24	1	2		3		9	
		20㎡以上 40㎡未満	7	1				3	3		
合計		48	18	2	3	6	3	5	4	7	
そ の 他	河川	3	2						1		
	海・湖	1							1		
	プール	29	14	2	3	1	3	3	2	1	
	濠・池等	15	2			5		2		6	
	その他										

消防団出動状況

H31. 1. 1～R1. 12. 31

地区別出動		区分	計			管 轄 内			管 轄 外		
			回数	台数	人員	回数	台数	人員	回数	台数	人員
本庄分団	計		38	222	2,170	38	222	2,170			
	火 災		11	59	333	11	59	333			
	警 戒		6	57	312	6	57	312			
	その他災害		3	24	99	3	24	99			
	訓 練		18	82	1,426	18	82	1,426			
矢島分団	計		21	65	651	21	65	651			
	火 災		1	6	66	1	6	66			
	警 戒		1	6	35	1	6	35			
	その他災害		3	21	78	3	21	78			
	訓 練		16	32	472	16	32	472			
岩城分団	計		19	93	662	19	93	662			
	火 災		2	22	81	2	22	81			
	警 戒		2	4	46	2	4	46			
	その他災害										
	訓 練		15	67	535	15	67	535			
由利分団	計		23	111	868	23	111	868			
	火 災										
	警 戒		4	10	61	4	10	61			
	その他災害										
	訓 練		19	101	807	19	101	807			
大内分団	計		24	82	552	24	82	552			
	火 災		2	14	81	2	14	81			
	警 戒										
	その他災害		1	1	3	1	1	3			
	訓 練		21	67	468	21	67	468			
東由利分団	計		22	94	502	22	94	502			
	火 災		1	6	22	1	6	22			
	警 戒										
	その他災害		2	17	55	2	17	55			
	訓 練		19	71	425	19	71	425			
西目分団	計		14	70	465	14	70	465			
	火 災		2	6	16	2	6	16			
	警 戒		1	1	9	1	1	9			
	その他災害										
	訓 練		11	63	440	11	63	440			
鳥海分団	計		37	115	1,052	37	115	1,052			
	火 災		3	11	88	3	11	88			
	警 戒		2	6	18	2	6	18			
	その他災害		1	2	16	1	2	16			
	訓 練		31	96	930	31	96	930			

消 防 年 報

[令和元年版]

令和2年7月 発行

由 利 本 荘 市 消 防 本 部

〒015-0801 秋田県由利本荘市美倉町2-7番地2

総務課 TEL 0184-22-4282 FAX 0184-23-2748

E-mail fdhonbu-soumu1@city.yurihonio.lg.jp

警 防 課	TEL	0184-22-4283
予 防 課	TEL	0184-22-4287
救 急 課	TEL	0184-22-4290
通 信 指 令 課	TEL	0184-22-4292
本 荘 消 防 署	TEL	0184-22-0011
矢 島 消 防 署	TEL	0184-55-2111
